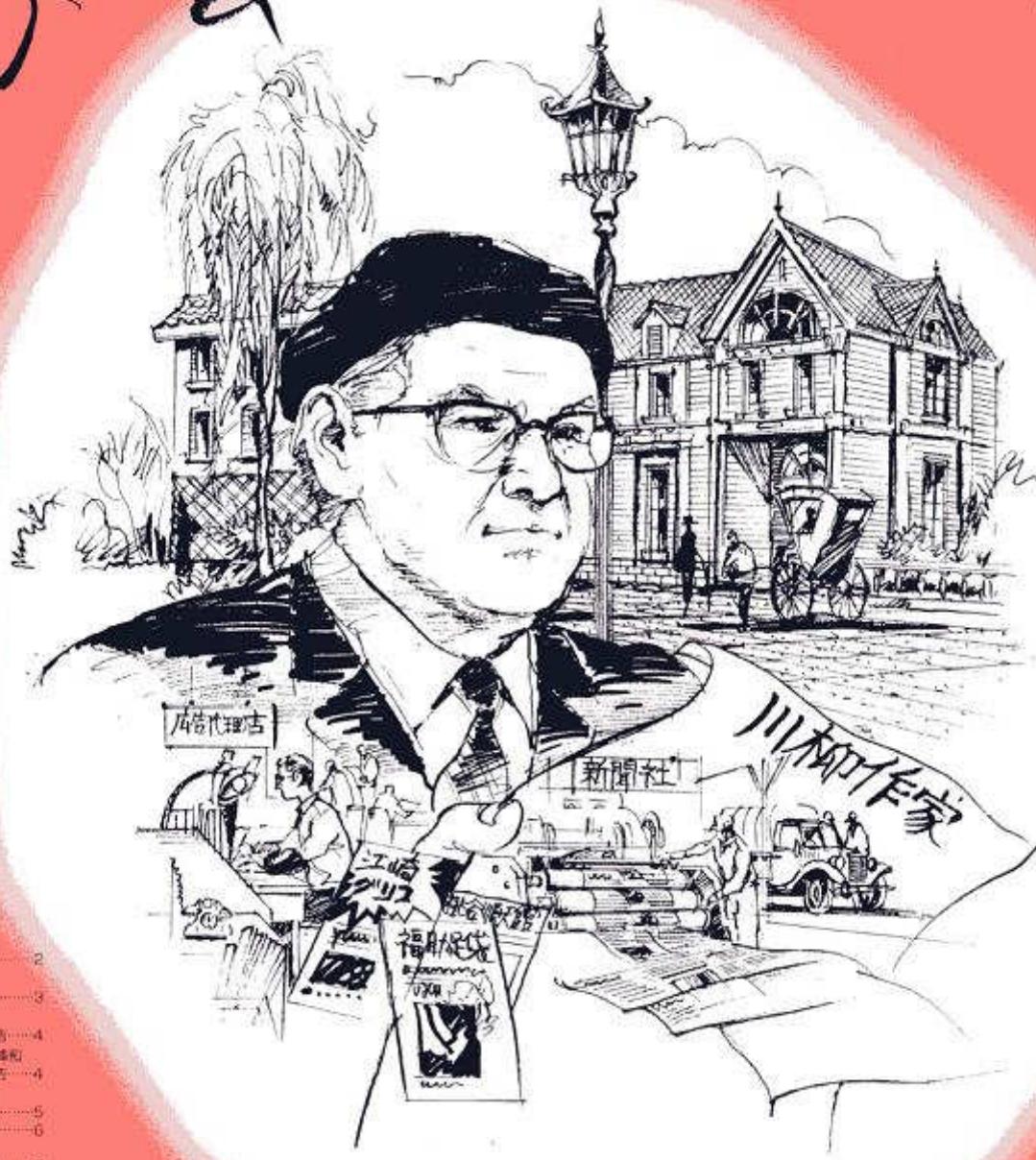


# 学芸



CONTENTS

- 会報「学芸」第14号  
発刊にあたり ..... 2  
会長 和田 伸夫
- ご挨拶 ..... 3
- 理事長・団体別評述 ..... 4
- 平成20年度高等学校学芸部会 ..... 4  
高野学校 校長 高橋伸和
- 平成20年度PTA会長の報告 ..... 4  
PTA会長 太田 敏
- 活動報告 ..... 5
- 行事報告 ..... 6
- 同窓会活動報告  
成器39会開催される ..... 8  
39会事務局 米田耕作
- 同窓生会員 ..... 8
- 大阪学芸高校創立50周年の  
現状とこれから ..... 9
- 硬式野球部 指導 川村誠一
- 吹奏楽部日々会  
事務局長 爰崎尚文 ..... 9  
事務局次長 吉野祐介 ..... 10  
会員 会員 德母大輔 ..... 10
- 小唄作家  
河本水引先生の生い立ち ..... 11
- 平成21年度会員登録手引書 ..... 13
- 会報 ..... 13
- 「学芸定期物販売会開催」  
会場集合場所にご協力を ..... 14
- 制度会議議題  
寄付者ご芳名 ..... 14
- 平成21年度 育児会への  
寄付方お願い ..... 15
- 寄付金の寄付者ご芳名 ..... 15
- 平成19年度決算報告 ..... 16
- 年会費納入に  
ついてのお願い ..... 18
- 平成21年度例会及び  
懇親会のご案内 ..... 19
- あとがき ..... 19

第14号  
2009



大阪学芸高等学校同窓会  
(成器会)

発行所: 〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15  
TEL: 06(6693)6301 FAX: 06(6693)5173

# 会報 第十四号発刊にあたり



大阪学芸高等学校同窓会（成器会）

## 会長 和田貞夫

一昨年夏のサブプライム問題から始まつた米国の金融不安は欧州各国を巻き込んで世界規模の金融危機に拡大しました。

特に昨年九月十五日のリーマン・ブライザーズの破綻以後、米国最大級の保険会社であるアメリカン・インターナショナル・グループの急速な経営悪化や一部マネー・マーケット・ファンドの元本割れ、モルガン・スタンレーなどに対する預り資産の大額引出し等が重なり、世界のドル短期市場は閉塞状態に陥っています。

このような金融危機は一九二九年の世界大恐慌以来のことだといわれており、国際通貨基金（IMF）は世界の全金融機関の損失が最大約一四〇兆円にのぼると試算を公表しました。又各国の金融当局も公的資金の注入が必要になると指摘しています。

九州のある有力地銀では昨年八月末の中企向け融資残高は一七八兆円で一年前に比べると一・六%減っています。又長野県松本市の建設会社である竹村組（社長が県建設業協会会長）が十月六日に民事再生法の適用を申請し、経営破綻をしました。（負債総額は22億円程度）一番手以下の金融機関も回収が難しいと判断し、一〇億円単位で資金を引き揚げたらしいです。

この様に局面が大きく変化したことを見た金融庁も佐藤隆文長官が「リーマン・ブライザーズの破綻以降日本も地域経済や中小企業の状況が大巾に悪化している」と語らざるを得なくなつたのです。

このままでは地域金融機関は資本不足に陥り、地域経済に打撃を与えるかねないとして政府と党も「金融機能強化法改正案を国会に提出する方針を決めざるを得なくなつたのです。

過去二年間（平成十八年～平成二十一年）の卒業生は国民秘密保護法の関係で同窓会への入会の申込者（希望を意志表示した者）のみを入会して戴いており卒業生全員の入会はされておりませんでした。

この金融・経済危機が世界同時恐慌にならない手立てを講じるため欧州15カ国を始め、新興国・途上国も含めG20の会議等を開いて全世界的な問題として取り組み、未曾有の金融不安と世界経済の悪化を防ぐための解決策を見出すために論じられようとしているのです。この辺で目を母校の方に向けて戴き同窓会活動についてご協力を願いしたいと存じます。私たちの母校は校名も改正し現在は大阪学芸高等学校になつていますが、本校の創始者である遠藤三吉先生大阪市浪速区に成器商業学校を創設され本年で一〇六周年を迎へ、三万名超の卒業生を輩出する学校歴を残して参りました。私たちの母校を良くするのも悪くするのも同窓生の双肩にかかるつて存じます。

私たちの卒業した母校をより誇れる学校にするためには同窓生の力を借りる学園の運営者の方をお借りするより方法はないと思いません。

勿論学園の運営者は言うに及ばず、教育現場で頑張つて戴いている先生方やPTAの「父兄の皆様のご協力も必要あります。欠かせないのは卒業生（同窓生）でありその組織体である同窓会である」と信じています。

なお本誌の13頁に同窓会の年間行事計画を掲載していますので奮ってご参加下さい。特に春の同窓会総会と秋の懇親会には是非多数の参加をお願いします。学園側にも各担任教師の多数参加を要請致します。

本年も皆様方にとつて良い年でありますようにお祈り致します。

# ご挨拶



学校法人大阪学芸  
理事長

岡本利雄

理 事 長  
理事長を拝命して、早いもので1年を経過しました。同窓会の皆様には、母校への変わらぬご支援、ご協力を戴きまして心より感謝しています。

昨年の「大学合格者問題」を教訓に学園として再生委員会を立ち上げ、学園の現状と将来ビジョンについて「諮問委員会（教育・財務・規則）」「プロジェクトチーム（財務・募集）」等で検討を踏まえ議論を積み重ねて参りました。遅くなりましたがこの度、学園の永続計画書」を策定致しました。策定にあたっては、1、「生徒・保護者が満足する学校づくり」2、「教職員が誇りとやりがいを持つて勤める職場づくり」3、「永続的な学園財政基盤の確立」という3つの目標を達成する為の様々な課題を提起いたしました。

計画書では、学園の「行動理念」、中長期財政計画、募集戦略や教育内容の充実、組織機構など多岐に亘る内容となっています。特に、学園が地域社会の中でどのように役割を果たすべきかという社会的使命を明確にし、その実現に向かってどのよ

うな学校づくりをしていくべきかと言うことです。

計画書に基づく改革を行うことで学園の「永続的発展」という明るい未来を展望し、切り開いていくことになります。それが成されなければ本当の意味での改革を実現したことにはならないと考えています。

しっかり議論を尽くし、一日も早く学園関係者の理解と納得を得ながら、目標に向かって一致団結して邁進していくことを考えています。

お陰様で本学園は創立105年を迎えることができました。長い歴史を経て、高等学校は生徒数154名、中等教育学校は生徒数848名（いずれも1／1現在）合計2402名の生徒数を擁する学園として至っています。このことは中・高の教育内容が、生徒や保護者の支持を得ているとの証左であり、これまで学園を支えてこられた諸先輩と、それに続く教職員の努力の賜物と感謝しています。

しかし私学を取り巻く環境は一層厳しくなって来ています。少子化が進む中で、ここ数年生き残りを賭けた大学との連携・提携・系列化の動きが活発化しています。今年に入つてからは、摂陵高校が早稲田大学の系属校となり（早稲田摂陵）、立命館大学による初芝中学校・高校の系列下（初芝立命館）、近畿大学による飛翔高校の系列化（近大泉州）など教育界は嘗ての「護送船団」「横並び」の時代から、いよいよ再編・淘汰の時代に突入し、今後さらに加速されると予想された学校づくりに注力したいと考えています。

行動理念＝学園のあるべき姿を制定したことです。

計画書に基づく改革を行って、「経常費補助金」の前向きな意識改革が不可欠であり、それが成されなければ本当の意味での改革を実現したことにはならないと考えています。

こうした流れをふまながら、本学園はどのような道を選ぶべきか様々な角度から分析・検討を加えました。現在のところは「自主・自立」路線を買ひたいと考えています。

私学は独自の教育方針を掲げて教育を行つており、大学の系列校化に入ることには、この精神的支柱を喪失する恐れがあるからです。

本学園においても、創立者遠藤三吉先生が「卓絶なる技能」を持ち、人間として「高尚なる徳義」を有する「紳士」を養成するという建学の精神のもと当時世界のトップを走る英國を目指し、国際的視野を持った実業人を養成する為に設立されました。

英語教育を重視するなど、まさに国際教育の先駆けとも言える、進取の気性に富んだ教育を実践されました。

建学の精神を現在的解釈をしますと、「学問を通して豊かな人間性をはぐくみ、社会に貢献できる青年を育成する」とだと考えていました。

「有名大学の冠」を頂くことは、生徒の確保に繋がる可能性がある反面、本校の独立性や教育の自由度を大きく損なう危険性を孕んでおり、提携内容が本学園にとって最大限のメリットとして享受できる状況でないかぎり、安易に進めるべきではないと判断しています。有名大学

のブランド力に頼らない真の実力を備えた教職員が、生徒の満足を自らの喜びにできる学園を創ります。

54名、中等教育学校は生徒数848名（いずれも1／1現在）合計2402名の生徒数を擁する学園として至っています。このことは中・高の教育内容が、生徒や保護者の支持を得ているとの証左であり、これまで学園を支えてこられた諸先輩と、それに続く教職員の努力の賜物と感謝しています。

しかし私学を取り巻く環境は一層厳しくなって来ています。少子化が進む中で、ここ数年生き残りを賭けた大学との連携・提携・系列化の動きが活発化しています。今年に入つてからは、摂陵高校が早稲田大学の系属校となり（早稲田摂陵）、立命館大学による初芝中学校・高校の系列下（初芝立命館）、近畿大学による飛翔高校の系列化（近大泉州）など教育界は嘗ての「護送船団」「横並び」の時代から、いよいよ再編・淘汰の時代に突入し、今後さらに加速されると予想された学校づくりに注力したいと考えています。

1. 学校教育を通して、地域・社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる学園を創ります。  
2. 生徒が、何歳になつても誇りを持つて語られる学園を創ります。  
3. 教職員が、生徒の満足を自らの喜びにできる学園を創ります。

## 「大阪学芸のあるべき姿＝行動理念」

## 平成20年度高等学校学事報告



校長

高橋峰和

平素は、同窓会の皆様から、本校の教育活動に対する支援を賜り深く感謝申しあげます。おかげさまで、1500名を超える在校生の教育活動が順調に進んでいます。

私は、建学の精神「商人として『卓絶なる技能』を持ち、人間として『高尚なる徳義』を有する『紳士』を養成する」。

校訓「德器成就」の実現に向けて、もとより微力ではありますが、全力投球で校務にあたっております。

(1) 教育活動  
生徒に提供する「教育の質」の向上に全力をあげます。

学校の中心である授業の改善に全力をあげます。他校にさきがけて導入した、生徒・保護者による「授業評価アンケート」、「学校満足度アンケート」を改善に役立てます。

南館完成に伴い、余裕が生じた本館

の隣接3教室を改装してサテネット室と管理自習室を開設しました。

「」案内のように、サテネットはセンター試験、国公立一次対策まで広く対応できるので、生徒の自学自習を支援して、進学実績の向上を期しています。

### (2) 募集活動

募集活動を、本校の「生命線」と位置づけて、精力的に展開しています。

昨年「」引き続いて、中等教育学校と合同で学習塾対象入試説明会を10月2日に行いました。

本校主催の入試説明会&オープンスクールも5回実施しました。入学金の減免制度(注)も、4月1日より新たに実施します。

(注)「卒業生の子女、弟妹及び在学生の兄弟姉妹に対する入学金減免規則」  
とはいって、募集活動の成否は、先輩諸氏、本校在校生、中学校学習塾関係者の「口コミ宣伝」による所が大きいといえます。

同窓会員の皆様の「」支援をお願いいたします。

同窓会の益々の「発展と会員の皆様の」健勝を期待申し上げますとともに、本校教育に対するいつそうの「」支援ご協力をいたたきますようお願いいたします。

## 平成20年度PTA活動の報告



PTA会長

太田敏

10月：PTA社会見学  
(京都・扇子絵付け)

11月：進路説明会

12月以降は、新年会(教員・PTA)、卒業式、私学振興大会、入学式等があります。この他にPTA新聞「きずな」を年4回発行します。また、卒業生には記念品(印鑑等)を贈呈し、学校は卒業記念品を贈る」とを決めています。

同窓会の皆様には、常口頭より「厚情を賜り厚くお礼申し上げます。また、春の成器会総会に続き、秋季懇親会にもお招きいただき本当にありがとうございます。さいました。

さて、5月にPTA会長に就任して以来、早いもので半年あまりが過ぎました。多くの行事は「上半期」に集中しております。ですが、気を抜くことなく下半期も一生懸命がんばる所存でございます。どうぞよろしくお願いします。

以下に本年度のPTA活動(11月までの)の概要を報告いたします。

平成20年5月：PTA総会

新旧役員懇親会

7月：大学見学会

PTAボーリング大会

9月：文化祭のPTA

バザー出店

進路説明会



## 成器会活動報告

<p>● 平成20年2月22日（金）午前10時～ 於：本校体育館 大阪学芸高等学校 卒業式 卒業生309名</p> <p>和田会長・足立副会長出席</p>	<p>定期総会 議長・辻 良介副会長 副議長・田中 敏文副会長 (報告事項)・行事報告・決算報告 監査報告・「青年部」・活動報告 決算報告・それぞれ報告承認されました。 (審議事項)・行事計画案・予算案 新役員の一任の説明がありすべて承認可決されました。 総会に続いて同場所にて懇親会が催された。</p>	<p>於：道頓堀ホテル 出席者67名</p>
<p>● 平成20年3月1日（土）午後3時～ 於：同窓会室 第6回役員・委員会 出席者16名</p> <p>(1) 総会の準備と分担について (2) 役員の補充について (3) その他</p>	<p>平成20年8月28日（木）午後5時～ 於：本校会議室 出席者3名</p> <p>第2回成器会規約改訂会議 出席者3名</p>	<p>● 平成20年8月28日（木）午後6時～ 於：浪花そば 出席者3名</p> <p>第1回臨時役員委員会 出席者15名 (1) 学園側との同窓会の件について 折衝状況の報告 (2) 会報14号の表紙</p>
<p>● 平成20年4月7日（月）午前10時～ 於：本校体育館 大阪学芸高等学校 入学式 入学生449名</p> <p>和田会長・足立副会長出席</p>	<p>平成20年6月28日（土）午後4時～ 於：同窓会室 第2回役員・委員会 出席者13名</p> <p>(1) 高野山旅行の準備について (2) 役員の補充について (3) その他</p>	<p>● 平成20年9月17日（水）午後4時30分～ 於：本校会議室 成器会規約改訂会議 出席者3名 会長と理事長のトップによる決断に委ねる</p> <p>● 平成20年9月26日（金）午前10時30分～ 於：本校会議室 和田会長岡本理事長・会談に委ねる 出席者4名</p>
<p>● 平成20年4月12日（土）午後3時～ 於：同窓会室 第1回役員・委員会 出席者15名</p> <p>(1) 総会の準備と役割分担について (2) 役員の補充について (3) その他</p>	<p>● 平成20年6月28日（土）午後4時～ 於：同窓会室 第2回役員・委員会 出席者9名 全員加入の件)</p>	<p>● 平成20年9月17日（水）午後4時30分～ 於：本校会議室 成器会規約改訂会議 出席者3名 会長と理事長のトップによる決断に委ねる</p> <p>● 平成20年9月26日（金）午前10時30分～ 於：本校会議室 和田会長岡本理事長・会談に委ねる 出席者4名</p>
<p>● 平成20年5月12日（月）午前10時～ 於：本校会議室 学校法人側との話し合いについて</p>	<p>● 平成20年7月25日（金）午前10時～ 於：本校会議室 成器会規約改訂会議 出席者3名</p>	<p>● 平成20年9月26日（金）午前10時30分～ 於：本校会議室 和田会長岡本理事長・会談に委ねる 出席者4名</p>
<p>● 平成20年8月2日（土）～3（日）午後4時～ 於：高野山普賢院一泊と標の湯温泉旅行 参加者23名</p>	<p>● 平成20年10月4日（土）午後2時～ 於：同窓会室 第3回・役員・委員会 出席者14名</p>	<p>● 平成20年10月4日（土）午後4時30分～ 於：来鈴亭 第4回・役員・委員会及び忘年会 出席者15名</p>
<p>● 平成20年5月17日（土・月）午後3時～</p>	<p>● 平成20年8月20日（水）午後4時～ 於：同窓会室 (1) 学園側との同窓会の件について</p>	<p>● 平成20年10月4日（土）午後6時～ 於：浪花そば 出席者3名</p> <p>第1回臨時役員委員会 出席者16名 (1) 学園側との同窓会の件について 折衝状況の報告 (3) 会報発行の準備について</p>

# 行事 報 告

## 定期総会・懇親会

平成二〇年度

兼会計、「監査報告」本田重彦会計監事  
(承認)、「青年部活動報告」中川恭孝青年  
部部長(承認)、それぞれ報告を受けた。

副会長 漣 良介

### 審議事項

平成二〇年五月十七日(土)午後二時より道頓堀ホテルに於いて、昨年よりも多い六十七名の出席者の下、盛大に定期総会が開催されました。

司会者の仲西晃副会長の開会宣言で始まり、和田貞夫会長より挨拶があり、まず、武田一仁副校長に御出席の御礼、学校法人側との話し合いについて説明、同窓会より、窓会加入者は四十三名との報告を受けました。

続いて学園側より武田一仁副校長より、今年度の新入生は、四四八名(男子二三一名女子二二七名)でその他、進学状況、学事報告等の説明並びにご挨拶を受けました。

議長は連副会長、副議長に田中敏文副会長が選出されました。

### 報告事項

平成20年度「行事報告」西野仁彦副会長、「決算報告」井原靖二副会長



懇親会  
総会に続き午後五時より懇親会が開催されました。

毎年のことく米田耕作副会長に宴会を仕切つて頂き藤井昭三顧問の何時もの元気ある乾杯で宴が始まり、ピンゴゲームの景品で楽しんだり、名人カラオケ大会で皆様の方の口頭の美声を聞きながら楽しい懇親会も最後に西野仁彦副会長の挨拶で無事閉会致しました。



平成20年度 総会出席者

## 高野山普賢院一泊と 槇の湯温泉旅行



高野山普賢院 出席者

今年も例年通り八月一日（土）～三日（日）と普賢院への一泊旅行が執り行なわれました。一時の涼を求めて本年は二十三名の参加者で、楽しく賑やかに交歓いたしました。夕食前の会長挨拶では、「個人情報保護法の学校側の解釈の見解で、ここ三年、卒業生の同窓会への入会が、卒業生個人の意志表示を必要とする」とし、以前の様に全卒業生からの入会金は入らず、入会意志を表した卒業生数十名よりの入会金のみとなり財政的には非常に

と普賢院への一泊旅行が執り行なわれました。一時の涼を求めて本年は二十三名の参加者で、楽しく賑やかに交歓いたしました。夕食前の会長挨拶では、「個人情報保護法の学校側の解釈の見解で、ここ三年、卒業生の同窓会への入会が、卒業生個人の意志表示を必要とする」とし、以前の様に全卒業生からの入会金は入らず、入会意志を表した卒業生数十名よりの入会金のみとなり財政的には非常に

遅迫しているが、ここに来て全卒業生より同窓会への入会金の納入可能な同窓会のあり方に付いて学校側と各校名を代表として話し合ひをする事になった」と話された。又、赤井理事からは、「昨年の水増し問題は遺憾であるとし、新たな学校にする為、一丸となって頑張っている」との報告があった後、足立副会長の乾杯と和やかに楽しい宴が始まった。

翌朝より勤行に全員参加、学園関係物故者の靈や先祖の靈に思いをはせ、仏塔下にて安置されている仏舎利に手を合せ、我らの大先輩・森寛紹師の銅像前にて記念撮影、数珠屢次郎兵衛みやげ物店手配のマイクロバスにて奥の院の近くまで送つて頂き、中の橋への帰途、慰靈碑にて普賢院のお坊さんと共に読経礼拝、記念撮影をした。

槇の湯温泉でも不景気なのか、マイクロバスは売却したとの事で普通の乗用車二台で迎えに来られ、又大浴場は閉鎖されており、宿泊客用の温泉にて入浴となつたが、相も変わらぬおいしい鮎の塩焼きをいただき、ゆったりとした時間を過ごした。この様な状態なので、次回は適当な温泉を探していますので、乞う御期待。

なお、次回は普賢院様の都合で八月八日（土）九日（日）となります。皆様が友人知人をお説き合わせの上ご参加下さる事をお待ちしております。

なお、我らの先輩、鬼追寿雄氏が当日俳句二句を普賢様に奉納されましたのでその句を記させていただきます。「鑑賞下さい。

普賢院凜と構えて 百日紅  
読経に老鶴の研 慰靈祭

鬼追嘉雄  
(一部 三十九期卒業)

## 平成二十年度 秋季懇親会・ 臨時総会開催

### 秋季懇親会・ 臨時総会開催

事務局長 甘佐勝

平成二十年十一月十五日（土）午後五時よりニューミュンヘン両大使館に於いて、58名出席のもと、臨時総会が開催されました。

仲西晃副会長の開会宣言で和田会長の挨拶に続き審議事項の規約（会則）改正の今日に至るまでの経過、最終案までの説明がありました。

議長、西野仁彦副会長・副議長、辻良介副会長・書記、田中敏文副会長・書記、甘佐勝事務局長が選出されました。

#### ○審議事項

同窓会・成器会（大阪学芸同窓会）規約  
(学園側・大阪学芸高等学校同窓会会則)  
(タイトルの相違)

○新規約・大阪学芸高等学校同窓会（成器会）会則で承認可決され、足立好一副会長より閉会の挨拶があり閉会いたしました。

臨時総会に引き続き午後六時より同場所に於いて懇親会が開催されました。（出席者十五名）

ご来賓として学園から岡本利雄理事長・高橋峰和校長、理事の先生方、PTA副会長中津準様のご出席を戴きました。

西野仁彦副会長の開会宣言、物故者默祷に統き和田真夫会長の挨拶、学園を代表し岡本利雄理事長挨拶、高橋峰和校長の学事報告

そしてPTA副会長中津 準様の挨拶を頂き、これより一部に入ると司会の合図により藤井昭三顧問の乾杯の音頭で宴会に入り、各テーブルも笑顔がはじけ時の経つのも忘れ楽しい一時を過ごしました。

校歌の大合唱、万歳三唱、又来年も多数の出席を期待し仲西晃副会長の閉会の挨拶で無事閉会となりました。



臨時総会並びに秋季懇親会出席者

## 成器39会が開催される

39会事務局 米田耕作

去る平成20年7月19日（土）午後6時から難波道頓堀ホテルで第10回記念成器39会同窓会が開催されました。始まりは平成5年でもう15年になります。平成17年迄は隔年で行なっていましたが、当時会長だった川久保明君（C組）が61才の若さで急逝し毎年行なう事になりました。第8回から熊谷熙雄君が会長を引き継いでおり39会を明るく照らしております。今年の参加者は和田成器会々長、久米先生、会員25名の27名で昨年の38名には及ばなかったけど盛会でした。

峰松悠一郎君（E組）は45年振りの初参加で懐かしい顔をタイムスリップさせてくれました。彼は静岡県から遠路はるばるの参加です。当日会場はあわただしくはたばたしており誰一人気付かず大変申し訳なく思つてあります。本当に有難うございました。

午後6時に総会が始まり熊谷会長（B組）の挨拶、河守君（普通科）の

会計報告、北橋君（D組）の会計監査が終わりました。ホテルサービスに依る写真撮影が有った後、懇親会に入りました。久間田君（B組）の名司会は忘れられた物故者に対する輿想を要求しました。私はそれを当然の如く応じ今は亡き恩師や友人達の御靈に対しあれに臉を下げ冥福を祈りました。

そして懇親会に入り、久米先生の挨拶、和田会長の挨拶がありました。お二人はまだまだお元気でお若く共に現役として活躍されておられます。

久米先生（72才）は学園理事をリタイヤされた後、母校の天理大学で女子バレーボール部の監督をされ現在は大阪の鞠公園スポーツ施設で管理事務長をされています。又、和田会長（82才）は存知の様に衆議院議員（政務次官）を引退された後、現在は大阪中小企業経営センター理事長をされ、この度、堺市観光協会理事長に就任されています。

私は63才でまだ若く、お二方を見習わなければいけません。さて懇親会も続き英君（A組）の乾杯の音頭で宴会に入り、約一時間程懇かしい思い出話しに花を咲かせました。会費収益の還元を考え昨年より成器会に倣い

ピンゴゲームを行ないました。商品を安価で購入したものを景品に出し喜んで貰えました。続いてカラオケに入り時代物や新作物が入り交りました。締めは堀江君（B組）を中心に全員がスタンディングし肩を組み合い懇かしい校歌を四番迄フルコーラスしました。

塚本君（E組）の閉会の挨拶で記念のパーティーが終了致しました。お互い二人はまだまだお元気でお若く共に現役として活躍されておられます。

久米先生（72才）は学園理事をリタイヤされた後、母校の天理大学で女子バレーボール部の監督をされ現在は大阪の鞠公園スポーツ施設で管理事務長をされています。又、和田会長（82才）は存知の様に衆議院議員（政務次官）を引退された後、現在は大阪中小企業経営センター理事長をされ、この度、堺市観光協会理事長に就任されています。

## 同窓生短信

高校十一期昭和三十四年卒業五十周年おめでとうございます。

私は三年D組吉田浩二と申します。

私は三年D組吉田浩二と申します。昨年も成器会（大阪学芸同窓会）学芸の紙面を借りてD組の近況をお書きしました。

た。

我々3年D組で卒業五十周年の祝賀会を開きます。一期生の皆さんとともに祝いをしませんか？

私の組は毎年、同窓会を開いております。皆で話し合いし他の組の方と一緒に行つてはと、思い出話しが出て楽しいだろうな。

今年も、成器会（大阪学芸同窓会）学芸の紙面をお借りしてご連絡を

します。この記事を読まれてご出席のご気持がございましたら是非、お連絡を下さい。お待ちしております。

高校時代に戻り大いに騒ぎませんか！吉報をお待ちしております（二月十日までに）



- 開催日：三月十一日（水）十八時より
- 大阪・道頓堀ホテルにて  
連絡先：06（6871）4956  
FAX：06（6871）4960  
携帯：090-3284-5015

吉田浩二

大阪学芸高校野球部の

現状とこれから

硬式野球部 監督 川村誠二

平成20年4月から野球部の指導に携わり半年が過ぎました。旧チーム（現3年生）は夏の大会を前にして監督の交代ということで、方針や選手の起用法等で迷いや焦りがあつたかと思います。私も彼らの能力・潜在力を十二分に引き出すことが出来なかつたのではと自問自答するところであります。

現在2年生17名、1年生15名、「マネージャー」4名、計40名で活動を行っています。平日の活動は特進クラス・進学クラスと終了時間が異なり、講習等もあって全員揃つての総合練習が出来ません。またグラウンド割り当ても月曜1／4面、木曜1／2面、土曜日となっています。この現状でいかに生徒の潜在能力を引き出し、チームのレベルを上げるかということがこれからは課題です。平日は投手、内野手、外野手の3班にわかれて個々の体力強化、技術練習に取り組ませています。長居のトレーニングセンターを利用したり、早朝にアイーパッティングやシャドーピッチングなどを行い、少しでも合理的かつ有効的なメニューをしようと試行錯誤の日々です。そんな中、幸いにも河南町総合グラウンドがあり夏季休業中は毎日利用し、日曜日や祝日などは実践練習や練習試合で、日々の練習の成果を試しています。

## 新チーム戦績

6-6	京都学園	6-7	紀央館
1-5	:	2-9	:
10-3	二階堂	3-5	堺上(仁徳杯)
15-7	緑風冠	1-3	飛翔館
1-8	阿武野	0-1	:
8-3	:	4-8	上宮太子
4-15	初芝	0-9	東大阪大柏原 (秋季大会)
0-7	:		
7-9	今宮工科	1-0	泉尾
2-6	:	1-14	かわち野
7-9	清水谷	10-6	大阪体育大学浪商
16-8	:	7-4	:
1-15	国際開洋第二		
5-21	:		

るのが生徒の意識です。個々に取り組まることによってチームとしての意思統一や目標のフレアが生じてきます。高校生ですので自分に甘えが出たり、「自分はやっている」という自己満足に陥りやすい部分があります。野球の技術練習以上に精神の鍛錬が重要不可欠です。そこで新チームから「野球人である前に、良き学芸生であれ」という部訓を掲げ、「返事・挨拶・声・タッショ」をモットーに、日々の練習、学校生活の積み重ねが満足のいく結果につながると指導しています。部員一人ひとりが同じ志を持ち、それに向かって一心不乱に夢中になれる、そんな野球部でありたいと思います。近い将来、卒業生やOBの方々に喜んで頂ける報告が出来るよう生徒とともに切磋琢磨していくます。これからも学芸野球部の活躍加油ください。

卒業生が集まります

## 「楽器を吹こう！」を開催

大阪学芸高等学校吹奏楽部OB会  
事務局長 垣崎尚文（平成10年3月卒業）

当初、事前の人数把握では十数人の参加予定でしたが、当日の飛び入り参加もOKだったこともあり、最終的には37名もの卒業生に参加していただきました。下は平成20年に卒業したメンバーから、上は昭和47年の卒業生まで幅広く参加していたなどことができたのは、OB会の行事としても意義あるものとなりました。



## 吹奏楽部とOB会活動

### ～資料の保存と活用～

大阪学芸高等学校吹奏楽部OB会

事務局次長 寺西祐介（平成11年3月卒業）

吹奏楽部OB会は、吹奏楽部の発展向上、卒業生同士の親睦の2つを大きな目的として活動しています。主な活動は、卒業生の音楽活動や近況、そして吹奏楽部の活動を伝える会報誌の発行、卒業生で構成される吹奏楽団への支援、吹奏楽部への資金援助などです。また、毎年12月の上旬には、大阪学芸高等学校のホールで、吹奏楽部員の技術向上を目的に、本格的な審査を行う校内アンサンブルコンテストを保護者の方々や卒業生を招いて開催しています。

この他にも、最近では、吹奏楽部に残された資料の保存にも取り組んでいます。創部から60年以上を経た吹奏楽部には、楽器はもちろんのこと写真・映像・録音・発行物など数多くの資料が残されています。これらは、いずれも当時の部員たちの活動を伝える貴重な財産でもあります。OB会ではこれらの資料を長く保存し、より利用しやすい形にするための整理作業を進めています。

その中でも、近年とくに力を入れて取り組んでいるのが、音楽をする上で大切な道具のひとつである楽譜の整理です。創部から現在まで、吹奏楽部が所蔵する楽譜は約2000点、これらの楽譜のなかには、演奏をする際の注意点やどうすれば良い演奏ができるか等、歴代の部員によるメモが書き込まれたものが多くあります。これらは単なる楽譜ではなく、吹奏楽部の歴史が蓄積された財産です。これらの楽譜は、歴代部員の努力によってこれまで大切に保管さ

れきましたが、近年は、その数の多さから管理が行き届かず資料としての価値が引き出せていないのが現状です。そこで、吹奏楽部OB会では、卒業生のお力を借り、楽譜をひとつひとつ調べ、目録を作成する作業を行っています。また、数年かかる見通しだすが、しっかりとした形にまとめ、現役部員と卒業生との交流などに活用できればと考えています。

過去と現在をつなぎ「歴史」として記録し次の世代へ伝える。これもまた卒業生の大切な役目ではないかと思います。これからも吹奏楽部OB会は、吹奏楽部への支援を様々な形で行うとともに、保存資料を通じた交流を進め、吹奏楽部を通して幅広い年代の卒業生が時間を越えてつながって行けるそんな集まりにして行けばと考えております。今後も吹奏楽部OB会の活動にご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 大阪学芸高等学校吹奏楽部OB会吹奏楽団の活動

大坂学芸高等学校吹奏楽部OB会吹奏樂團  
団長 德岡大輔（平成13年3月卒業）

私たち大阪学芸高等学校吹奏楽部OB会吹奏樂團は、吹奏樂部の卒業生35名で活動している樂團です。主な活動は、年に2回のJR難波駅前OCA-Tボンテ広場で行いますボップス曲を中心としたコンサートと、ホールにて行いますクラシック曲や吹奏楽オリジナルの樂曲を組み込んだ定期演奏会です。

平成20年度の定期演奏会は11月16日に阿倍野区民センター大ホールにて開催しました。当日は朝から雨模様でしたが、開演時刻ちかくには雨もあがり、同窓会の皆様や大阪学芸高等学校の先生方をはじめ約200人のお客様にご来場いただき、団員35名に大阪学芸高等学校吹奏樂部の部員14名と客演1名を加えた総勢50名での演奏をお聴きいただきました。同窓会をはじめ、大阪学芸高等学校吹奏樂部や顧問の先生方にも多大なる支援をいたさ無事に演奏会がでましたことをありがたく思っております。

私たちが活動の拠点として練習に使用させていただいている場所は、大阪学芸高

等学校で年間練習の8割以上になります。大阪学芸高等学校の卒業生で活動する樂団としては当たり前のような話ですが、樂団の立ち上げ後、しばらくの期間は、風紀的な問題やお互いの価値観の違い等から大阪学芸高等学校での練習はほとんどおこなつておりませんでした。

しかし、最近では大阪学芸高等学校吹奏樂部、様々な事情から資金面で大変苦しい状態が続いており、樂器の修理もままならないような状況です。

その様な状況の中、私たち樂團では、練習場所として使用させていたたぐ代わりに吹奏樂部が活動する為の資金を援助しております。資金面で苦しい吹奏樂部と樂器や練習場所を持たない樂團が、お互いに足りない部分を協力しながら活動しております。また、練習場所を母校にしたことで、現役生への指導が行いややすくなるなど、金銭面以外での効果もでていると思います。

今後、OB樂團では、団員を増やし、様々な面で吹奏樂部へより多くの支援ができることを目標としております。また、おそれこのよき話は、吹奏樂部以外でもでいるのではないかと推測しております。同窓会を中心により多くの団体が様々な情報を交換しながら活動をできる事を願つております。

# 川柳作家 岸本水府

第四期生 明治四十二年（一九〇九年）卒業

（本名 岸本龍郎）

思われていた。

龍郎少年も内心は上の学校へゆきたが、家の意向では進学を許されない様子なのでおとなしくあきらめた。

水府先生は明治二十五年（一八九二年）二月二十九日（閏年）三重県の鳥羽に生誕されました。父は大蔵省官吏で、三重・和歌山・愛媛と転勤後、大阪に居住、成器商業（現大阪学芸高等学校）を明治四十二年（一九〇九年）に卒業されました。

今回は表紙と四齣「マンガでも紹介しています。

## 学園生活

「道頓堀の雨に別れて以來なり——」

川柳作家・岸本水府とその時代 田辺聖子著（中央公論社・一九九八年刊）

り抜粋）で学園が紹介されている。

「自伝」で「ああ夢の世や」の歌——  
成器商業へ入学できたうれしさ——

という一章を書いている。

小学校を卒業したのは明治三十九年（一九〇六年）。この当時は中等学校へ進むものはきわめて稀で、ここ九条あたりでは男の子はたいてい附近の鐵冶屋に奉公させられたという。女の子は、大阪でいうモリさん——子守り——

十九歳、数えて二十歳といえばもう学校を卒業しているが、この学生時代、成器商業在学中に川柳に手を染めはじめ、水府の柳号もすでにそのころから用いているので、話をあともどりして、学生生活を覗いてみよう。水府はその

## 人気川柳作家

明治四十二年（一九〇九年）川柳界に「こころが説いてくれた友人は、どうした」とか入学せず、少年だけ入ることになつた。三年制で校長は遠藤三吉という弁護士、授業料は一円、教科書はたくさんあつて重い。ことにも嬉しいのは制服のハイカラさ、野暮な白グートルではなく、黒ラシャに金ボタンの制服、長ズボンである。のちに成器商業と名が変り当時の南区馬渕町に移った。教育勅語の「德器ヲ成就シ

から採つて成器と名付けたといふ。授業程度が高く、いい教師がいた。世界地理には原稿を用い、英会話は英人ウイルス先生。この当時の中等学校、ことに男子校がほとんどそうであるように質実剛健が教育の基本方針である。学校の数もその頃は少なかつた。中学校は府立で北野、市岡、天王寺、私立学校が、いま無試験入学で募集しているから、一緒にいかないと誘いにきたのだ。両親は友達の手前も龍郎少年を可哀そうに思ったのか、入学してもよいといつてくれた。少年は「天にものぼる心地だつた」といつている。

地理には原稿を用い、英会話は英人ウイルス先生。この当時の中等学校、ことに男子校がほとんどそうであるように質実剛健が教育の基本方針である。学校の数もその頃は少なかつた。中学校は府立で北野、市岡、天王寺、私立学校が、いま無試験入学で募集しているから、一緒にいかないと誘いにきたのだ。両親は友達の手前も龍郎少年を可哀そうに思ったのか、入学してもよいといつてくれた。少年は「天にものぼる心地だつた」といつている。明治四十二年（一九〇九年）川柳界に入り、大正二年（一九一七年）川柳雑誌「番傘」西田當百総師と共に創刊する。近代的な感覚の練磨に基く大衆によくわかる川柳作品を発表。また「番傘」を全国に広め川柳事業として大成功する。

昭和十一年・十二年（一九三六年・一九三七年）頃には川柳は民衆詩た新しい民衆文学だと川柳ファンがふえた。「医師」「サラリーマン」「大学教

授」「中小企業の社長」まで。それに女性達も「番傘」につどい川柳を楽しめた。

川柳家・芸能人の支援で「足袋は福助」をPRした水府先生はこの成功で秩父宮台監記念の表彰を受けた。(福助足袋の名宣伝マンと称された) 水府

先生は新聞広告のデザインやコンクールに参加し東京朝日新聞・大阪朝日新聞で一等賞をとった。

### 主な作品

「川柳の手引」「川柳の作り方問答」「川柳文学雑稿」「岸本水府川柳集」「川柳の書」「川柳読本」「人間手帖」「母百句」等々。

●昭和二十八年(一九五三年) 広島県三原市禪宗の名殺、万年山松寿寺の丘に第一号の句碑がある。

●昭和三十年(一九五五年) 岡山県JR久世駅前に句碑が建つた。

●昭和三十四年(一九五九年) 一月五

日「番傘」川柳社創立五十年記念として

水府先生の努力で大飯の法善寺横町に川柳「番傘」創立者西田当白の句碑を料亭正弁丹吾亭の前に建立した。

●昭和三十四年(一九五九年) 寝屋川市香里園の成田不動尊境内の笑魂塚に句碑が建つた。

●昭和三十五年(一九六〇年) 七月二十七日に水府先生の句碑は道頓堀の元中座前料亭今井の前に建つている

「頬がむりの中に日本一の顔 水府」川柳二七会が建立し除幕式に二代目中村雁治郎と中村玉緒が幕を引いてくれた。

●昭和三十九年(一九六四年) 京都府綾部市由良河畔に建つた。

(他日本各地に句碑が建っている)

### 句碑



川柳「番傘」を全国に広め川柳事業として大成功する  
**川柳作家 岸本水府氏** (本名 岸本龍郎)  
まじ もと すい ふ  
まじ もじとうお



## 平成21年度 年間行事のご案内

平成二十一年度の年間行事を次の通り開催致します。奮ってご参加下さい。

### ● 総会及び懇親会

平成二十一年五月十六日(土)(場所:道頓堀ホテル)

三時～総会 五時～懇親会

### ● 高野山普賢院一泊とミステリー旅行

平成二十一年八月八日(土)～九日(日)

### ● 秋季懇親会

平成二十一年十一月二十一日(土)(場所:ニューミュンヘン南大使館)

四時三十分集合 五時開会

※右記諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させていただきますので、卒業期・年度・住所・ご貴名・TEL・FAX等ご記入の上、左記の所にお送り下さい。(本年度は葉書を同封しておりません)

宛先 TEL 558-0003 大阪市住吉区長居一丁目十五

### 大阪学芸高等学校同窓会(成器会)

TEL〇六(六六九三)六三〇一  
FAX〇六(六六九三)五一七三

※やむをえない事情により日程を変更することもありますので、参加ご希望の方はその都度役員にお聞き下さい。

### 報 告

ご逝去の通知を頂いた方々のお名前と卒業年次を掲載し、故人のご冥福を祈るとともに同窓生各位にお知らせします。

(敬称略・届出順)

御存名	卒業期	死亡年月日
岡本 伍郎(昭和27年高校4期)		
金谷 正三(昭和25年高校2期)		
平谷 一登(昭和15年一部26期)	平19	
河内 繁一(昭和18年一部36期)	平16	21
金本 均(昭和51年高校28期)		
田中 成佳(昭和36年高校3期)		
室田 貞夫(昭和8年一部28期)		
北野 良一(昭和63年高普25期)		
西下 賢(昭和56年高普18期)		
上田 浩一(昭和42年高普4期)		
平岡 敏男(昭和39年高校16期)		
谷 仙藏(昭和18年一部38期)		
小泉 幸治(昭和26年高校3期)	平19	12
片岡 正進(昭和16年一部36期)	4	
梅田 健泰(昭和63年高校40期)		
白木 義一(昭和36年高校13期)		
右近 良宏(昭和23年一部43期)	平18	10
榎本 隆(昭和15年一部35期)	平19	31
浜田 留吉(昭和11年一部31期)	平19	9
岡本 榮太(昭和13年一部24期)	平5	10
植田 健太郎(昭和16年一部34期)	平20	8
井上 清(昭和13年一部33期)	平20	7
宮本 登喜夫(昭和37年高校14期)	平20	5
田中 健介(昭和31年高校8期)	平20	11
北条 清彦(昭和31年高校8期)	24	19
	22	30

## 「学園関係物故者慰靈碑」の管理運営にご協力下さい

わが母校は校祖遠藤三吉先生が一九〇三（明治三十八）年六月に大阪市浪速区馬渏町（現戎本町二丁目）に建学され、から今年で一〇六周年を迎える。卒業生は三万余名、経済界を始め各界で活躍され幾多の功績を残してござりました。私たちの大先輩の中に古い卒業生として川柳の岸本水府先生（一部四期生）、高野山金剛峯寺、元管長の森寛紹師（一部七期生）、実業界で活躍された元野村證券株式会社会長の瀬川美能留氏（一部二十期生）、喜劇俳優の曾我廻家明鏡師匠（一部二十二期生）又元阪神タイガースで速球投手として名をはせられました梶岡忠義氏（一部三十三期生）や全国中等学校相撲大会で優勝して成器の名を挙げた下村慶次・井上清・古田隆（一部三十三期生）の諸氏等スポーツ界で活躍された方々がおられます。

さて、平成十八年十月靈地高野山に建立しました「学園関係物故者慰靈碑」は、毎年催されている高野山普賢院一泊旅行の参加者によつて法要を行うようにしてあります。参拝者の名刺受函や浄財箱等の附属品を徐々に追加工事をして行かなければなりませんので同慰靈碑の管理基金の募金活動を続けて行く必要がありますのでご協力よろしくお願ひ申し上げます。なお十万円以上の基金を提出いたいたいの方には慰靈碑横の芳名標板に「芳名を刻して永久に保存させて戴く」となっていますので併せてご理解の上ご協力の程お願い申し上げます。

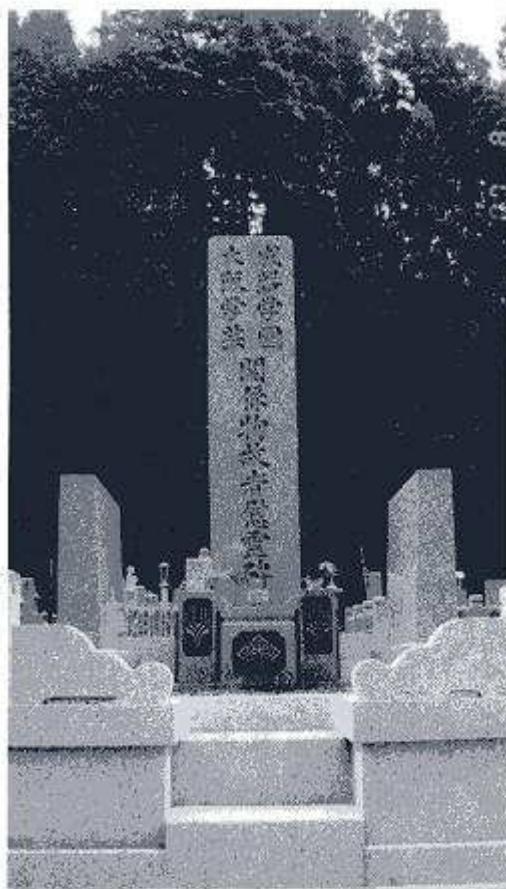
### 募金の申込み方法

一口一万円としていますが何口でも結構です。又一万円以内でも結構です。  
同封の払込取扱票で払込んで下さい。

### 「学園関係物故者慰靈碑」の管理委員会

委員長  
和田  
管理委員  
貞夫

上野寅次郎  
西野仁彦  
鈴木良介  
松村勝  
田仲  
米田  
中田  
米田  
久米  
足立  
川西  
立米  
恭好  
雅孝  
晃一男



慰靈碑

### 慰靈碑管理基金 寄付者芳名録

#### 慰靈碑管理基金

平成十九年十一月一日～平成二十年十一月三十日まで十件  
金三十八万円也の温かいご協力を賜り深く感謝の意を表し、改めて厚くお礼申し上げます。

（敬称略・到着順）

廣田 一成	（昭和62年卒）	大阪市住之江区
武江 宗太郎	（昭和28年卒）	東大阪市
吉川 太一	（昭和50年卒）	堺市北区
川田 峰夫	（昭和20年卒）	
銀治 輝夫	（昭和14年卒）	
門出 章次	（昭和29年卒）	中林市
植山 敏次	（昭和8年卒）	南市
富田 芝		北区
林 林		



平成21年度

## 同窓会募金について ご支援方お願い

平素は、大阪学芸高等学校同窓会（成器会）に対し物心両面に亘り、温かいご支援を賜り、有難く謹んで御礼申し上げます。

轟かせて腰をもつた。

既に、この承認の通り金融危機が深刻さを増し、株価は暴落、株安が企業や家計をむしばみ、景気を冷やし、さらに株安に跳ね返る悪循環の中で、募金の集まりが悪くなる傾向にあるのも致し方ないと思われますが、私たちの私学をとりまく情勢は、経営統合が報じられるなど一段と厳しさを増し、今後、変化の激しい時代になることが予想され存続にかかわります。

この会報は、同窓会の更なる発展を目的としたためにも毎年、定期的に発行するものです。この会報を通じて母校と同窓生との絆をしっかりと結びつけ、可能な限り募金活動を続けて実施致します。

この会報を全同窓生にお届けすることで、最近の学園の意気盛んな様子と他校の羨望的となつていることを知つてもらい、母校への関心を高めて頂き、同時に同窓会活動にもご理解とご協力を得たいと考えております。

平成八年度からは、年会費もお願いします。これからも自助努力で会報の発行を継続するため、同窓会各会員の積極的なご支援、同窓会活動の活性化、財政の健全化及び会報継続発行等々に資するため、何卒ご理解を賜り、ご協力、ご支援の程宜しくお願ひ申し上げます。

通鑑卷之三

募金牛

大阪学芸高等学校同窓会(成器会)

更路志

十一年度募金事業  
大綱

卷之五

卷之三

募金主体 大阪学芸高等学校同窓会（成器会）  
募金方法 一口一万円□数制限なしで（ただし事情に

お受け致します。

募金本部長  
和田 貞夫

上野寅次郎  
井原徳三郎  
西行  
仲少

甘酒佐  
勝介  
鎌松木村  
清三

寺下 正造 高木 康之

寄付に感謝しま

寄村金志幕者一勞名錄

大阪学芸高等学校同窓会（成器会）・募金事業へのご支援を本会報を通じ、同窓会の皆様にお願いいたしましたところ、多数の皆様から温かいご寄付を頂戴いたしております。ここにご芳名を掲げ感謝の意を表します。

◎平成十九年十二月一日以降平成二十年十一月三十日までの受付は次の通りです。（敬称略 到着順）

北米和中仲門井  
富田岡政  
前数田岡政  
丈谷六口川田中崎峯岡田田田西出原  
竹定康政義寬朋裕耕貞和章靖  
夫美平宏善三郎司治次作天光晃次二  
昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭  
和和和和和和和和和和和和和和和和  
583218501724143663393942312925  
年年年年年年年年年年年年年年年年  
卒卒卒卒卒卒卒卒卒卒卒卒卒卒卒卒  
堺愛松堺奈大伊大堺大堺松大香堺  
知市和阪阪阪阪阪阪  
市県原美良都丹浪市東市東市東市芝  
中須原山速吉中住北阪住吉南  
区市市区市市区区区区市区市区

# 平成十九年度 決算報告

副会長兼会計 井 原 靖 二

○ 平成19年4月1日から平成20年3月31日迄の  
收支決算、財産目録は下記の通りです。  
収支明細について概要を説明します。

1、収入面は、平成20年3月の卒業生から納付された会費が9・2%、同窓各会員から寄せられた年会費・寄付金(募金)が57・0%で残りは、会報広告収入と慰靈碑管理基金収入(25・9%)並びに特別会計剰余金と受取利息(7・9%)等です。

2、一方支出面は、同窓生に配布する会報の印刷費と通信費が2,645千円で支出の57・7%。次いで学園の諸行事(体育祭)・空手道部のインター杯出場等、同窓会関係者に対する慶弔費・寄贈費として金一封を贈り諸活動に協力しているのが1・4%です。その他の支出として各案内状の印刷・往復ハガキその他郵送の通信費・各種手数料・事務費・旅費・慰靈碑寄進者名彙り入れ等の必要経費があります。

○ 平成19年度の「募金」は同窓生のご支援、ご協力により募金者数58名、募金額591,000円に達しました。

○ また「年会費」も納入者258名・納入額74,000円の温かいご協力を賜りました。

○ 「慰靈碑管理基金」についても募金者14名募金額260,000円のご協力を賜りました。

ここに、深く感謝の意を表し、改めて厚くお礼申し上げます。

尚、決算関係諸表につきましては、会計監査を受けた上、平成20年5月17日の定期総会において、ご承認を得ております。

## 平成19年度 収支計算書

(自 平成19年4月1日～至 平成20年3月31日)

単位：円

収入の部				
収入科目	実 算 額	予 算 額	予算比増減	備 考
経常収入	会 費	220,000	1,000,000	-780,000
	年 会 費	774,000	900,000	-126,000
	寄付金収入	591,000	800,000	-209,000
	広 告 収 入	360,000	600,000	-240,000
計		1,945,000	3,300,000	-1,355,000
非常外収入	慰靈碑管理基金収入	260,000	1,000,000	-740,000
	補 填 収 入	2	10,000	-9,998
	特別会計剰余金	181,866	200,000	-18,134
計		441,868	1,210,000	-768,132
資産取扱収入	受取利息	4,307	1,000	3,307
	貯 計	4,307	1,000	3,307
財務取扱収入	未 払 金	2,631	0	2,631
	計	2,631	0	2,631
収 入 計		2,393,806	4,511,000	-2,117,194
基 金 取 扱		1,000,000	2,000,000	-1,000,000
前 年 度 繼 越 金		2,247,907	3,612,219	-1,364,312
合 計		5,641,713	10,123,219	-4,481,506

単位：円

支出の部				
支出科目	実 算 額	予 算 額	予算比増減	備 考
総 会 費	122,820	200,000	-77,180	総合資料印刷：総会経費
慶 事 費	45,931	100,000	-54,069	祝金 1件10,000円、市議 1件2,173円、告別式供花 1件21,000円、葬礼供花(清酒) 1件3,750円、大麻市議会議員当選初當 2件9,008円
寄 贈 費	20,000	80,000	-60,000	空手道部への活動奨励金 10,000円、高校体育祭祝金 10,000円
記 念 品 費	0	100,000	-100,000	
印 刷 費	1,726,735	1,900,000	-123,265	同窓会報「琴芸」関連印刷 1,610,394円、役員・委員会案内印刷 59,031円、各行事案内印刷 69,825円、役員名簿印刷 25,200円、学園祭への申し込み書印刷 7,500円、学園祭との会合について印刷 4,725円
通 信 費	1,258,556	1,300,000	-41,445	同窓会報「琴芸」関連印刷 1,034,739円、各種会議行事案内往復ハガキ 143,600円、電話料 34,408円、市外電話電話料(300円/通) 184円、高野山一泊旅行案内郵送料 13,420円、その他封書等郵送料 32,218円
青 年 感 謝 費	230,000	200,000	30,000	活動資金支援
慰 膜 碑 管 理 費	50,000	0	50,000	慰霊碑寄進者名彙り入れ2名分
支 払 手 数 料	650,724	310,000	340,724	賃金・会費の口座振込手数料 39,330円、会報表紙デザイン料 60,000円、名刺料 1枚あたり138,946円、会報発送代行費 15,238円、会員データ更新料(検索第5シート) 92,610円、会員データマスターCDシステムインストール・住所クリーニング料 93,750円、追加会員入力料 30,030円、発送可能データ検索料本紙 10,500円、各種行事登録料 45,385円、高野山一泊旅行案内書封入作業料 4,200円、銀行振込手数料 13件 2,940円、函館空港送迎車両運行手数料 8,000円、講演説明発行手数料 24件 2,400円、通話明細内訳作成料 9件 945円、ユニバーサルサービス料 13件 87円
事 務 費	380,000	360,000	0	事務用品手当 30,000円×12ヶ月
会 議 費	0	30,000	-30,000	
旅 費 交 通 費	40,880	45,000	-4,120	銀行・郵便局訪問交通費
備 品 費	0	0	0	
消 費 品 費	2,680	90,000	-82,320	プリンターアイネクカートリッジ
相 税 公 課	259	200	659	受取利息に対する源泉税、地方税
雜 費	28,770	90,000	-61,230	PCA会計ソフト版権(まんじゅうサポート・サービス契約年会費 26,250円、高校卒業式手賀費 250円)
予 備 費	0	100,000	-100,000	
支 出 計	4,587,984	4,905,200	-317,216	
基 金 保 入	0	0	0	
次 年 度 繼 越 金	1,053,289	2,718,019	-1,664,260	
合 計	5,641,713	7,623,219	-1,981,506	

## 財産目録

平成20年3月31日現在

### 1. 普通財産

項 目		平成19年度	平成18年度	前年比増減
手 許 現 金 (合 計)		463,707	390,732	+72,975
手 許 現 金 (校 内 関 係 分)		63,031	96,779	-33,748
書 選 料 金 (三井住友銀行西田辺支店)		501,405	752,760	-251,355
郵 便 料 金 (住吉長居西郵便局 - 年会費口)		5,500	566,400	-560,900
郵 便 料 金 (住吉長居西郵便局 - 署金口)		20,406	441,236	-420,830
地 域 権 利 物 (慰 静 碑 建 立 用 土 地)		2,400,000	2,400,000	0
構 造 物 (慰 静 碑 建 立)		4,500,000	4,500,000	0
計		7,954,049	9,147,907	-1,193,858

### 2. 基 金

項 目	平成19年度	平成18年度	前年比増減
生 期 預 金 (三井住友銀行西田辺支店)	0	1,000,000	-1,000,000
計	0	1,000,000	-1,000,000

## 貸借対照表

平成20年3月31日現在

資 産 の 部		基 金 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	526,738	基 金	0
書 選 料 金	501,405	未 払 金	2,631
郵 便 料 金	25,905		
定 期 存 金	0	剰 余 金	7,951,418
構 造 物	4,500,000	(前期帳残剰余金)	(9,147,907)
地 域 権 利 物	2,400,000	(当 期 剰 余 金)	(-1,193,858)
資 産 合 計	7,954,049	基 金 合 計	7,954,049

## 剩余金処分計算書

平成20年5月17日現在

項 目	金 額
1. 当期未処分剰余金	7,951,418
2. 剰 余 金 処 分 額	
(1) 基金組入額	0
(2) 次期繰越剰余金	7,951,418

## 募金事業納入状況

区 分	平成19年度		平成18年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成14年度分	—	—	1名	5,000	—1名	-5,000
平成17年度分	—	—	1名	10,000	-1名	-10,000
平成18年度分	—	—	19名	166,000	-13名	-166,000
平成19年度分	14名	159,000	38名	295,000	-24名	-136,000
平成20年度分	42名	412,000	—	—	42名	412,000
特別寄付分	2名	20,000	1名	1,000	1名	19,000
計	58名	591,000	60名	477,000	-2名	114,000

## 年会費納入状況

区 分	平成19年度		平成18年度		前年比増減	
	納入者数	納 入 額	納入者数	納 入 額	納入者数	納 入 額
平成14年度分	—	—	1名	3,000	-1名	-3,000
平成17年度分	—	—	1名	3,000	-1名	-3,000
平成18年度分	—	—	98名	294,000	-98名	-294,000
平成19年度分	57名	171,000	193名	579,000	-136名	-408,000
平成20年度分	201名	603,000	—	—	201名	603,000
計	268名	774,000	293名	879,000	-35名	-105,000

## 会費(入会金)納入状況

区 分	平成19年度		平成18年度		前年比増減	
	納入者数	納 入 額	納入者数	納 入 額	納入者数	納 入 額
平成18年度分	—	—	36名	180,000	-36名	-180,000
平成19年度分	1名	5,000	141名	705,000	-140名	-700,000
平成20年度分	43名	215,000	—	—	43名	215,000
計	44名	220,000	177名	885,000	-133名	-665,000

## 慰霊碑管理基金納入状況

区 分	平成19年度		平成18年度		前年比増減	
	募金者数	募 入 額	募金者数	募 入 額	募金者数	募 入 額
平成17年度分	—	—	1名	10,000	-1名	-10,000
平成18年度分	1名	10,000	13名	123,000	-12名	-123,000
平成19年度分	7名	170,000	10名	120,000	-3名	50,000
平成20年度分	6名	80,000	—	—	6名	80,000
計	14名	260,000	24名	280,000	-10名	-20,000

大阪学芸高等学校同窓会（成器会）

会長 和田貞夫

## 年会費納入についてのお願い

二代続けて政権を投げ出した福田首相の後継首相に選ばれた麻生自公政権は当初10月解散11月選挙を予定していましたが米国の大サブプライム問題から端を発して世界的な金融危機に発展し、1929年の大恐慌以来の世界規模の経済不況が予想され日本の経済政策も見直す必要に迫られ年内の総選挙を先送りすることを決定し、経済政策の見直しと補正予算案を国会に提出致しました。日本経済が悪化するなか、同窓会財政の立て直しの必要が迫まれています。まず三年間続いた「入会申込みの意志表示をした者のみを同窓会員としていたのを本年3月の卒業生から全員が三年振りに同窓会員になることを同窓会と学園側とで話し合いの結果決着を見るに至りました。

それだけでは同窓会財政を立て直すことにはなりませんので次の年会費及び基金の募集を行います。

①成器会の年会費（1人年間3,000円）

②成器会事業基金（1口10,000円何口でも結構です）

③物故者慰靈碑管理基金（1口10,000円何口でも結構です）

（10万円以上の寄付者にはご芳名を刻し、慰靈碑建立場所に標記します）

①～③の金額の領収につきましては何れも振込用紙の払込票の受領証をもって領収証に替えさせて戴きますのでご了承下さい。

①～③までの年会費及び各基金は同窓会活動の活動費用になりますので積極的な募金活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ※年会費納入状況

年 度	納 入 者	納 入 金 額
平成16年度(平16/4/1～平17/3/31)	375名	1,125,000円
平成17年度(平17/4/1～平18/3/31)	268名	804,000円
平成18年度(平18/4/1～平19/3/31)	293名	879,000円
平成19年度(平19/4/1～平20/3/31)	258名	774,000円
平成20年度(平20/4/1～平20/11/30)	38名	114,000円

## 平成21年度 総会及び懇親会

日時 5月16日(土)(忘れないように、手帳・カレンダー  
にメモをしておいて下さい。)

《総会》 3時より 《懇親会》 5時より

会費 ￥5,000円

会場 道頓堀ホテル

TEL 06-6213-9040(地下鉄御堂筋線ナンバ駅24番出口)

大阪市中央区道頓堀2丁目3番25号

各線ナンバ駅より徒歩3分、ニュージャパン西隣

- 総会及び懇親会を上記の通り開催致しますので、奮ってご参加下さい。  
(総会に出席できない方でも、懇親会だけでも気楽にご出席下さい)
  - 懇親会の出席の方にはお楽しみ参加賞をご用意致しております。

平成二十一年度恒例の総会並びに懇親会を左記の通り開催することになりました。学園の現在の進学実績の更なる飛躍と魅力ある学校づくり及び同窓会のご報告等詳しくお聞き頂けると思います。つきましては、同窓会のお知り合いの方々をお誘い下さいまして、万障お繰り合わせの上、多数のご出席を頂けます様お願い申し上げます。

副会長兼書記 田中敏文

大阪学芸高等学校同窓会（成器会）よりのお願い

大阪学芸高等学校同窓会(成器会)は昭和49年に創立され卒業生は約3万余名に及んでいます。年1回の会報「学芸」発行を継続していくためには、同窓生のご協力が必要です。振込用紙を同封いたしますので、成器会のためにぜひ年会費と事業基金の募金並びに慰靈碑管理基金等へのご協力を戴きお振込をお願い致します。

\*会報についてご意見をお聞かせください。

あわせて住所変更、クラス会・同期会の開催などもお知らせいただければ幸いです。

※ 〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15

大阪学芸高等学校同窓会(成器会)宛 ☎ 06(6693)6301 FAX 06(6693)5173

※ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~gakugei/>

\*メールアドレス seiki-gakugei@yahoo.co.jp

## 〔個人情報の取り扱いについて〕

平成17年4月に施行されました「個人情報保護法」に基づいてデーターは厳密に管理し、同窓会活動（会報発送等）以外の目的には使用いたしません。

会報発刊後早や十四年目を迎え、お陰様で関係各位のご協力により平成二十一年度会報十四号を皆様にお届けする事が出来ました。

既に、本校已有余年の歴史を持つ「大阪学芸」が、少子化が急速に進んでいる中で大阪の私立高校と大学との統合か、廃校かまたは、本校が不祥事を起こし世間を騒がせたことで一層再生が厳しくなる条件の下、教職員が一丸となって、情熱をもつて教育に取り組む姿勢が大切だと考えます。

今後、質の高い教育、環境の整備、学校づくりに期待する次第であります

した皆様方並びに広告掲載にて協力頂きました方々に深く感謝し御礼申し上げます。

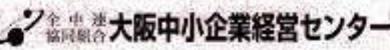
終わりに皆様方の「健康」「多幸」を  
心からお祈り致しましてあとがきの「  
挨拶」とさせて頂きます。

副会長 田中敏文

# 成器会会報「学芸」第14号

このたびは広告にご協力賜りまして誠にありがとうございます。

会報発行の際、大きな財源となっております。学園と同窓生とを結ぶ会報「学芸」がより豊富な内容で末永く発刊出来ますよう、役員・委員一同努力を重ねて行きたいと思いますので今後も広告の掲載にご協力下さい。

<p>成器会名誉会長 <b>伊丹 啓次</b> (1部20期・大正14年卒業) 株式会社伊丹ビル社長・大阪学芸顧問 〒561-0814 豊中市豊南町東3-14-4 TEL 06 (6331) 0745</p>	<p>税務・労務・法律・行政をはじめ 中小商工業者のあらゆる相談は…  <b>理事長 和田貞夫</b> 成器会会長 (大阪学芸顧問・1部39期・昭和19年卒業) 〒590-0953 神戸市北区甲斐町東4丁目1番10号 TEL(072)221-5115 FAX(072)221-5055 E-mail keiei@mbi.kisweb.ne.jp URL http://www.kisweb.ne.jp/keieicenter</p>	<p>学校・会社制服製造販売 <b>制服のトミオカ</b> (高校13期・昭和36年卒業) 〒556-0013 大阪市浪速区戎本町2丁目10番19号 TEL (06) 6649-2028 (代) FAX (06) 6649-2027</p>
<p><b>足立硝子株式会社</b> 〒556 大阪市浪速区日本橋東2丁目2-6 0006 TEL 大阪 (06) 6643-0335 FAX (06) 6643-5677 〒452 愛知県清須市西枇杷島町古城2-4-3 0001 TEL 名古屋 (052) 506-7505 FAX (052) 506-1633 H.P. 090-5161-3510 U.R.L. http://www.adachiglass.co.jp E-mail adachi@adachiglass.co.jp</p> <p>代表取締役会長 <b>足立好一</b> (高校1期・昭和24年卒業) 学校法人大阪学芸顧問・成器会顧問</p>	<p>製パン・製菓用クリーム 惣菜の製造販売  <b>取締役会長 田中善三郎</b> (2部28期・昭和17年卒業) 〒590-0001 神戸市北区遠里小野町2-4-26 TEL 072(238)0281(代) FAX 072(228)4161 http://www.tanaka.foods.co.jp</p>	<p> <b>丸善電機産業株式会社</b> 常務取締役 <b>橋本浩行</b> (大阪学芸監事・高校(音)18期生・昭和56年卒業) 本社 〒547-0033 大阪市平野区平野西1丁目2番6号 TEL(06)6797-1133(代) FAX(06)6797-1137 中國工場 江蘇省昆山市蓬朗鎮昆嘉工業区通路 TEL0512-5761-8711 FAX0512-5761-7917 URL http://www.magnix.co.jp</p>
<p><b>東川株式会社</b> と かわ 代表取締役 <b>東川 博</b> (1部40期・昭和20年卒業) 〒547-0012 大阪市平野区長吉六反3-10-18 TEL (06) 6709-7280 FAX (06) 6702-1188</p>	<p>鉄・ステンレスパイプ 切断専門 環境に優しい商品の取り扱い <b>西野パイプ株式会社</b> 代表取締役 <b>西野仁彦</b> (高校11期・昭和34年卒業) TEL(072)255-0803 FAX(072)255-0804 e-mail nishino_paipu@mbi.nifty.com インターネットショップ(West Field) http://w-field.b-smile.jp/</p>	<p>大阪学芸中等教育学校 指定業者 大阪学芸高等学校 <b>有限会社 オオサカユニフォーム</b> 大阪学芸 売店 取締役 北村裕次 yuki.kitamura@osaka-uniform.com (高校(音)25期生・昭和63年卒) 本社 〒558-0001 大阪市住吉区大領2-6-27 TEL (06) 6695-3929 FAX (06) 6693-9716 大阪学芸売店 TEL (06) 6695-1599 FAX (06) 6693-5955 書本店 〒599-8274 新市中区高瀬町2-12 TEL (072) 279-2705 FAX (072) 279-9298</p>
<p> 吉いみや岡本鉄工 代表取締役 <b>岡本利雄</b> (学校法人大阪学芸理事長・昭和11年卒業) 大阪市平野区瓜破南2丁目1番32号 TEL 06-6707-6987 URL http://home.att.ne.jp/~alpha/okamoto/</p>	<p> 社団法人/全国宅地建物取引業協会連合会 社団法人/大阪府宅地建物取引業協会 宅建免許/大阪府知事(2)第48749号 <b>有限会社 朝日プランニング</b> 代表取締役 <b>衣斐 雅一</b> (高校27期・昭和50年卒業) 〒545-0043 大阪市阿倍野区松虫通2-8-9 TEL (06) 6655-6774 FAX (06) 6655-6775 asahi0829@clock.ocn.ne.jp</p>	<p>建物総合管理・アウトソーシングの トップカンパニーをめざして挑戦する <b>株式会社 大阪ビル管理</b> 取締役本部長 <b>小川健一</b> (高校・平成9年卒業) 〒530-0037 大阪市北区板ヶ枝町6-22 TEL 06(6352)3871(代) FAX 06(6352)7895 E-mail k-ogawa@obk-net.co.jp URL http://www.obk-net.co.jp</p>
<p>美術印刷・紙器製品 企画・提案・製作 <b>株式会社 ヒラックス</b> 代表取締役 <b>上野寅次郎</b> (成器会副会長・高校9期・昭和32年卒業) 〒581-0012 大阪府八尾市小阪合町1-2-15 TEL (072) 929-8739 FAX (072) 929-8737 E-mail hilux@axelocn.ne.jp</p>	<p>■表紙絵及びイラスト 作家プロフィール はら たくみ イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員 (原 琢三) テレビ出演等々各界で活躍中</p> <p>表紙イラストは川柳作家 岸本水印(本名 岸本龍郎) 明治25年(1892)三重県で生る 明治42年(1909年)に成器商業(現大阪学芸高等学校)を卒業。在学中に川柳に手を染めはじめる。「岸本水印とその時代」田辺智子著(中央公論社)で学園が紹介されています。 明治42年(1909年)川柳界に入り、大正2年(1927年)川柳雑誌「墨韻」西田当百紀録と共に創刊する。大変によくわかる川柳作品を発表し、「墨韻」を全国に広め川柳事業として大成功する。 【明治25年(1892)~昭和40年(1965)73才】</p>	